



証券コード: 1447



ITbookホールディングス株式会社

2024年3月期第2Q 決算説明会

2023年11月30日

当社は、2023年5月18日付「当社連結子会社元従業員による不正行為に関するお知らせ」、および2023年5月22日付「調査委員会設置に関するお知らせ」に記載のとおり、当社連結子会社である株式会社サムシングの経理担当マネージャーであった元従業員による不正行為が発覚したため、外部の弁護士を含む調査委員会を設置し調査を行ってまいりました。また、2023年6月16日付「特別調査委員会設置に関するお知らせ」、2023年6月29日付「特別調査委員会による調査の進捗に関するお知らせ」、および2023年8月10日付「特別調査委員会による調査の進捗に関するお知らせ（第2報）」に記載のとおり、外部機関より当社および当社連結子会社のITbookテクノロジー株式会社において、2021年3月期および2022年3月期の会計処理において、一部に疑義があるとの指摘を受け、外部の有識者で構成される特別調査委員会を設置し調査を行ってまいりました。

調査結果につきましては、2023年6月27日付「調査委員会の調査報告書の受領に関するお知らせ」および2023年8月31日付「特別調査委員会の調査報告書の受領に関するお知らせ」にて開示しておりますとおりです。調査結果を受け、当社は、2023年8月31日付「第5期（2023年3月期）有価証券報告書の提出および過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出ならびに過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますとおり、過年度の決算訂正を行うとともに第5期有価証券報告書を提出し、第5期の一連の決算手続きが完了いたしました。

本資料の数値は訂正後の数値として置き換えたものとなります。

当社は、調査委員会による原因分析・再発防止策の提言を厳粛に受け止め深く反省するとともに、グループ役職員が一丸となり、内部統制の充実・強化及びコンプライアンス遵守の徹底を図るとともに、信頼の回復および再発の防止に全力で努めてまいります。なお、再発防止策の詳細に関しましては2023年7月25日付「再発防止策および関係者の処分に関するお知らせ」、2023年9月26日付「再発防止策および関係者の処分等に関するお知らせ」、および2023年10月26日付公表「東京証券取引所への「改善報告書」の提出に関するお知らせ」をご参照ください。

今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

再発防止策について（連結子会社の元従業員による不正行為）

1. 再発防止について(当社グループ)
 - (1)コンプライアンスの強化
 - (2)グループ内部管理体制の強化
2. 再発防止策について(株式会社サムシング)
 - (1)物理的な管理の徹底(金庫、キャッシュカード、パスワード等の管理)
 - (2)関連規程の整備(現金出納規則)
 - (3)体制の改善
 - (4)外部チェックの強化

※1. 詳細は2023年6月27日付公表「調査委員会の調査報告書の受領に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 再発防止策の詳細は2023年7月25日付公表「再発防止策および関係者の処分に関するお知らせ」をご参照ください。

再発防止策について（当社および連結子会社の不適切会計）

※特別調査委員会による再発防止策の提言により策定

→2023年10月26日 東京証券取引所へ「改善報告書」を提出・開示

1. コンプライアンス意識の強化
2. 内部統制の強化
3. 取締役会の運営方法の改善
4. 監査役会における監査機能の強化
5. 当社経理部門の体制強化
6. 子会社管理の強化
7. 内部監査の強化
8. 内部通報制度の運用強化
9. 子会社役員評価制度および予算作成制度の整備
10. 株式取得・売却時やM&A等の新規事業開始時の業務フロー・体制強化
11. 当社役員および子会社役職員の開示制度および会計に関するリテラシーの問題改善
12. 危機管理規程の改訂
13. 監査法人との連携強化

※1. 詳細は2023年8月31日付公表「特別調査委員会の調査報告書の受領に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 改善策の詳細は2023年10月26日付公表「東京証券取引所への「改善報告書」の提出に関するお知らせ」をご参照ください。

1. 会社概要	…	5
2. 2023年3月期 決算内容 連結	…	7
3. 2024年3月期第2Q 決算内容 連結	…	12
4. 中期経営計画進捗	…	21
5. Topics	…	24

1. 会社概要

社名	ITbookホールディングス株式会社
役員	代表取締役社長 前 俊守
	取締役副社長 松場 清志
	取締役 東 剛史
	社外取締役 塚本 勲
	社外取締役 高橋 俊裕
	社外取締役 森本 千賀子
	社外取締役 坂口 岳洋
	常勤監査役 西山 靖
	社外監査役 三谷 総雄
	社外監査役 岡田 憲治
事業内容	ITコンサルティング、システム開発、システム機器販売、人材派遣・紹介、地盤調査改良、地盤保証等を営む傘下子会社及びグループ会社の支配及び管理並びにこれに付帯又は関連する業務
資本金	1,866百万円(2023年3月末現在)
設立	2018年10月1日
上場市場	東京証券取引所 グロース(1447)
グループ会社数	連結子会社30社、子会社1社、関連子会社1社 (2023年3月末現在)
従業員数	連結2,461名(2023年3月末現在)

2. 2023年3月期 決算内容 連結

✓売上高、営業利益、経常利益共に公表見込値を超過し、利益面については上場来最高益を達成

(単位:百万円)	2021/3	2022/3	2023/3		対前年比		対見込	
	実績	実績	見込	実績	増減額	増減	増減額	増減
売上高	22,634	26,346	28,500	30,528	4,181	+15.9%	2,028	+7.1%
売上総利益	6,106	6,648	-	7,813	1,165	+17.5%	-	-
販売費及び一般管理費	6,359	6,410	-	7,074	664	+10.4%	-	-
営業損益	▲252	238	650	739	500	約3.1倍	89	+13.8%
経常損益	▲208	157	590	708	551	約4.5倍	118	+20.1%
親会社株主に帰属する当期純損益	▲843	▲766	370	162	928	黒字化	▲207	▲56.1%

✓売上高

①地盤調査改良事業:
 ・営業エリア拡大や主力工法の拡販
 ・不動産事業強化(三愛ホーム取得)
 ・地盤関連サービス強化(東名取得)
 大幅増(増額3,051百万円 21.6%増)

②人材事業:
 ・NEXT(技術者派遣)、アイニード(製造業・流通業)
 ・イスト(教員向け)各社好調に推移
 (増額794百万円 14.0%増)

✓営業利益

①コンサルティング事業
 ・利益管理体制強化による案件単価見直しで、不採算案件を排除し、案件単位の粗利率が大幅改善
 (増額280百万円 351.3%増)

②人材事業:
 ・NEXT(技術者派遣)営業方針見直しにより黒字化達成、
 ・イスト(教員向け)好調
 (増額171百万円 147.5%増)

③システム開発事業
 ・ITbookテクノロジー利益管理体制強化により黒字化

✓親会社株主に帰属する当期純損益

赤字子会社の整理が着実に進むも、支店、事業所整理に伴う特別損失の計上、及び育成事業の損失額増を補うコア事業子会社の税額増により、予想利益を下回る

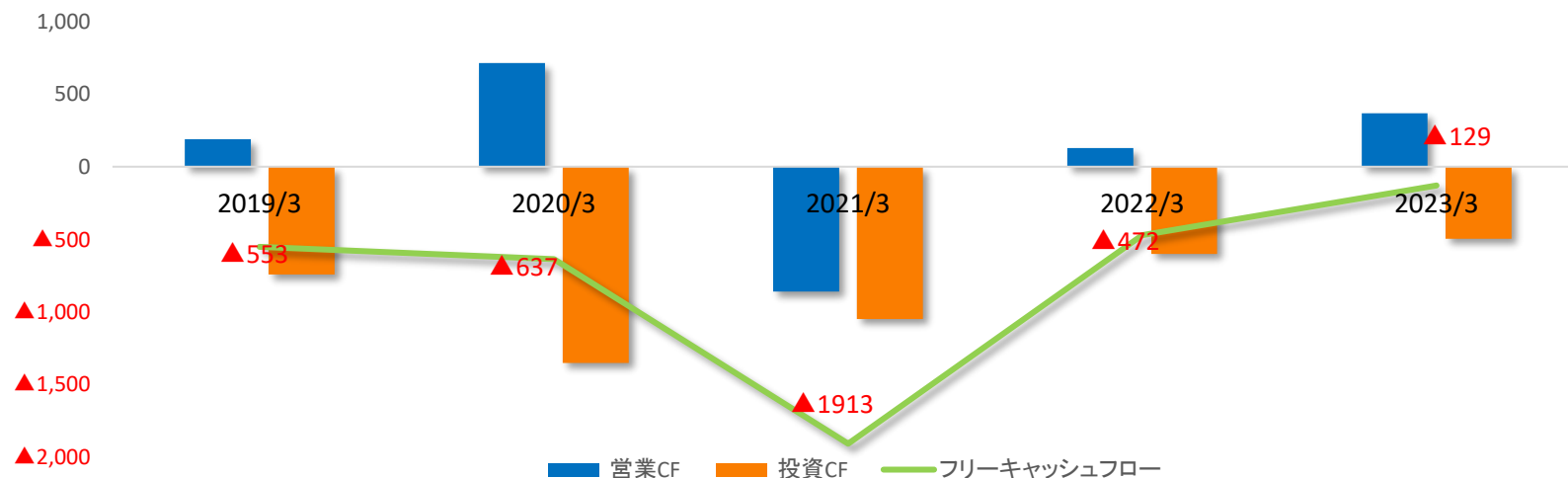
✓純資産について、第三者割当増資による資本増強（642百万円）により自己資本比率改善を達成

➡ 2024年3月期の計画値達成により更なる財務体質の強化を進める

(単位:百万円)	2022/3	2023/3	増減額	主な増減要因
流動資産	13,089	11,835	▲1,254	現金及び預金▲1,988 受取手形、売掛金及び契約資産615
固定資産	4,993	4,935	▲58	有形359、無形▲164(のれん▲135)、投資その他の資産(▲253)
繰延資産	15	1	▲14	開業費(▲12)
資産合計	18,098	16,771	▲1,326	
流動負債	11,891	10,086	▲1,804	短期借入金▲1,987
固定負債	4,007	3,707	▲300	社債▲161、長期借入金▲489
負債合計	15,899	13,793	▲2,105	
純資産合計	2,199	2,977	778	第三者割当増資642
負債・純資産合計	18,098	16,771	▲1,326	
有利子負債	11,206	9,062		
ネットD/Eレシオ	2.97	2.01		
自己資本	1,828	2,624		
自己資本比率	10.1	15.6		

- ✓ 売上債権の減少(前期比)、仕入債務の減少(前期比)等により営業CF前期比減少
- ✓ 有形固定資産の取得等により投資CF増加
- ✓ 借入金の返済等により財務CF減少
- ✓ フリーCFの通期安定確保を目指す

(単位：百万円)



(単位:百万円)	2021/3	2022/3	2023/3	前期増減額
営業CF	▲862	129	369	240
投資CF	▲1,051	▲601	▲498	102
フリーCF	▲1,913	▲472	▲129	342
財務CF	2,539	2,111	▲1,843	▲3,954
現金同等物 期末残高	3,536	5,235	3,293	▲1,941

		(単位：百万円)	2021/3	2022/3	2023/3	前期比増減額	概要
コア事業	コンサルティング	売上	1,562	1,481	1,741	260	✓利益管理、予算管理により、不採算案件を排除し案件単位の粗利率が改善
		セグメント損益	78	79	359	280	
	システム開発	売上	2,812	3,298	3,436	138	✓システム開発の需要は高く、売上は増加 ✓ITbookテクノロジー 営業方針見直しにより通期黒字化達成 ※2021年3月期 2022年3月期 赤字計上
		セグメント損益	▲85	▲1	130	132	
	人材	売上	4,753	5,681	6,476	794	✓人材需要は高く、売上・利益ともに好調 ✓NEXT(技術者派遣) 営業方針見直しにより通期黒字化達成 ※2022年3月期 赤字計上
		セグメント損益	136	116	287	171	
	地盤調査改良	売上	11,334	14,120	17,171	3,051	✓新型コロナウイルスの緩和により受注は増加するも 原材料の高騰の影響等により利益は前期比減少(地盤改良) ✓M&Aによる不動産事業・鉄道関連土木工事業 好調
		セグメント損益	154	829	653	▲175	
育成事業	保証検査	売上	302	308	280	▲28	✓住宅着工戸数の減少(前期比)により保証事業売上減 ✓検査事業の事業規模の縮小により売上減
		セグメント損益	55	77	3	▲74	
	建設テック	売上	366	475	480	4	✓事業規模拡大によるSE人材の獲得等により販管費増加 ✓研究開発費等の先行投資が増加
		セグメント損益	28	22	▲5	▲28	
	海外	売上	411	531	551	20	✓ベトナム国内での工事案件は安定的に受注 ✓原材料の高騰や円安による日本向けBPO事業の利益率低下が大きく影響
		セグメント損益	12	21	4	▲16	
	その他	売上	102	248	388	140	✓2022年4月～10月で不採算事業の解散・譲渡を実行
		セグメント損益	▲80	▲363	▲183	179	

3. 2024年3月期第2Q 決算内容 連結

✓売上高は前期比下振れするも利益面は概ね予想通りに推移

(単位:百万円)	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q	2024/3	対前年比	
	実績	実績	実績	見込	増減額	増減
売上高	11,882	14,331	13,848	34,400	▲482	▲3.4%
売上総利益	2,965	3,405	3,452	—	46	1.4%
販売費及び 一般管理費	3,374	3,714	3,483	—	▲230	▲6.2%
営業損益	▲408	▲308	▲31	1,000	277	—
経常損益	▲429	▲238	11	900	250	—
親会社株主に 帰属する 当期純損益	▲730	▲536	▲196	500	339	—

✓売上高

①地盤調査改良事業:
・三愛ホーム:不動産販売が下期に集中
(前期比 減額:494百万円 5.8%減)

②人材事業:
・NEXT:事業譲渡により売上高減少
(前期比 減額:188百万円 5.8%減)

③海外事業
・土木工事案件 受注・進捗良好
(前期比 増額:253百万円 108.1%増)

✓営業利益

①コンサルティング事業
・みらい:事業拡大に伴う販管費増
(前期比 減額83百万円)

②システム開発事業:
・ITbookテクノロジー:利益管理体制強化により前期比赤字幅縮小
・東京アプリケーション:ニショア/ラボ 安定受注
(前期比 増額81百万円)

③人材事業
・イスト:教育人材派遣 好調
・NEXT (SES)、アイニード(製造向け派遣)前期比下振れ
(前期比 減額:13百万円 5.8%減)

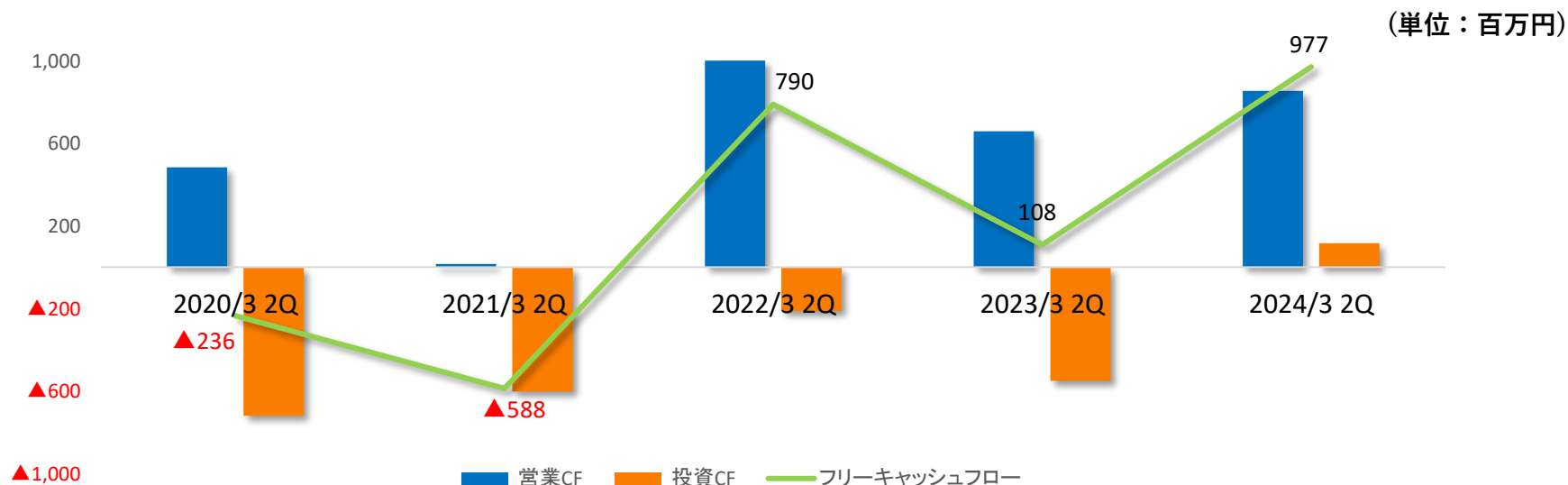
④その他事業
・前期不採算事業の整理実行により赤字大幅縮小
(前期比 増額:181百万円)

(単位:百万円)

	2023/3	2024/3 2Q	増減額	主な要因
流動資産	11,835	11,238	▲596	受取手形、売掛金及び契約資産 ▲1,426 販売用不動産 281百万円 仕掛品 359
固定資産	4,935	4,824	▲110	有形固定資産 ▲53 無形固定資産 ▲71(のれん▲71)
繰延資産	1	0	0	
資産合計	16,771	16,064	▲707	
流動負債	10,086	9,929	▲157	短期借入金 ▲94 1年内償還予定の社債 ▲126
固定負債	3,707	3,443	▲263	長期借入金 ▲222 リース債務 ▲25
負債合計	13,793	13,372	▲421	
純資産合計	2,977	2,691	▲286	利益剰余金 ▲214
負債・純資産合計	16,771	16,064	▲707	
有利子負債	9,062	8,506		
ネットD/Eレシオ	2.01	2.03		
自己資本	2,624	2,367		
自己資本比率	15.6	14.7		

✓ 投資CF 定期預金の払戻額が固定資産等の取得額を上回る

✓ 投資CFの影響もあるがフリーCF977百万円確保 →フリーCFの通期安定確保を目指す



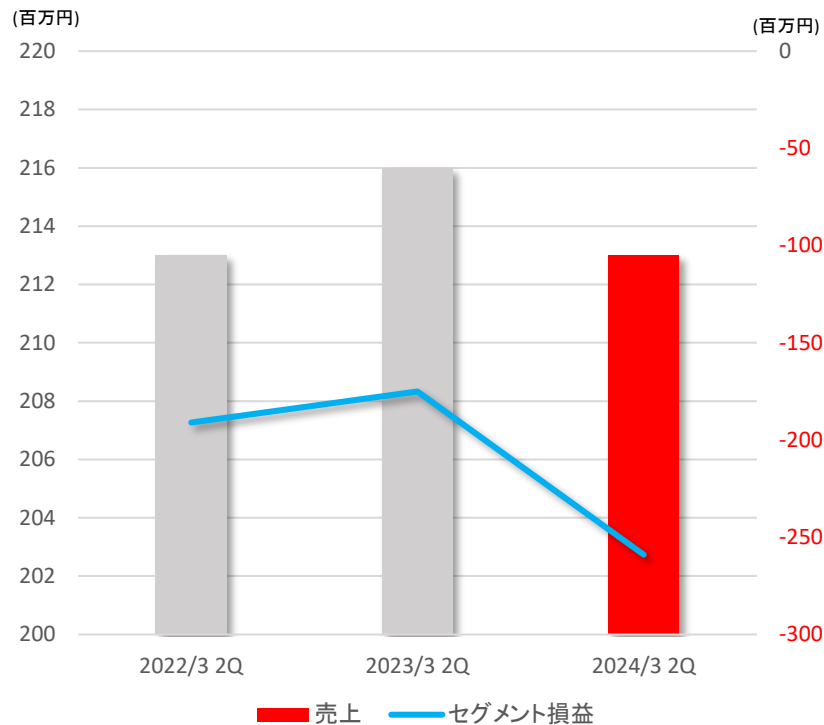
	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q	前期増減額
営業CF	1,003	659	860	201
投資CF	▲213	▲551	116	668
フリーCF	790	108	977	869
財務CF	▲764	607	▲565	▲1,173
現金同等物 期末残高	3,576	5,998	3,711	▲2,286

単位：百万円		2022/3 Q	2023/3 Q	2024/3 Q	前期比増減額	概要	
コア事業	コンサルティング	売上	213	216	213	▲3	✓公共案件中心により下期へ収益が偏重 ✓人員増により人件費増
		セグメント損益	▲191	▲175	▲259	▲83	
	システム開発	売上	1,525	1,578	1,439	▲138	✓ITbookテクノロジー：利益管理体制強化により前期比赤字幅縮小 ✓東京アプリケーション：ニアジア/ラボ 安定受注
		セグメント損益	▲12	▲52	28	81	
	人材	売上	2,725	3,213	3,024	▲188	✓イスト：教育人材派遣 好調 ✓NEXT (SES派遣)、アイニード(製造向け派遣) 営業利益前期比下振れ
		セグメント損益	34	165	151	▲13	
	地盤調査改良	売上	6,518	8,515	8,020	▲494	✓三愛ホーム：不動産販売が下期に集中
		セグメント損益	273	237	271	34	
育成事業	保証検査	売上	148	147	152	4	✓住宅着工戸数が減少するなかで新規、休眠および大手への営業活動が奏功
		セグメント損益	33	▲11	23	35	
	建設テック	売上	226	239	240	1	✓「GeoWeb」関連サービスは安定受注 ✓新規事業への投資が先行
		セグメント損益	9	▲11	▲10	0	
	海外	売上	225	234	487	253	✓ベトナム国内での工事案件を安定的に受注 ✓ベトナムの各省・グループ内外の会社との協力分野(製造・建設・人材・スマート農業等)を展開を目指す
		セグメント損益	5	▲9	9	19	
	その他	売上	97	186	269	83	✓前期実行の不採算事業の解散・譲渡により赤字大幅縮小
		セグメント損益	▲165	▲181	0	181	

売上高: 213百万円(前期比 98.5%)

主力の官公庁向けコンサルティングの多くは第4Qの計上予定

セグメント利益: ▲259百万円(対前期 ▲83百万円減) みらいにおける人員増強等の影響



ITbook

売上高 前期比 63.8%

- ・前期より進めている案件の原価管理徹底により利益の改善を図る
- ・管理体制強化を図り入札案件の角度向上を図る
- ・官公庁案検等、第4Qに売上が偏重

みらい

売上高 前期比200.9%

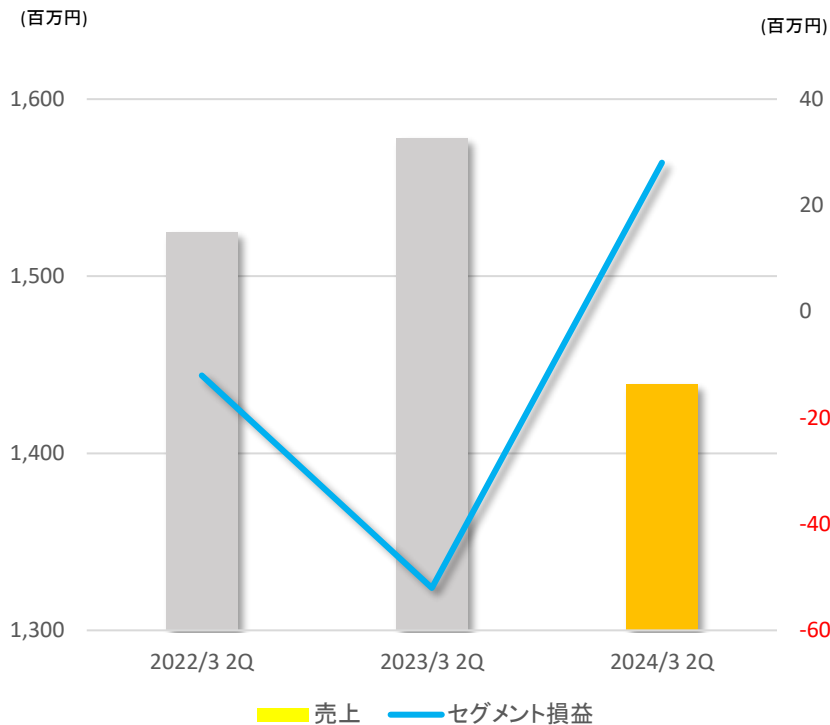
- ・人員増強やサテライトオフィス開設等によるスケールアップにより 前期比大幅増収
- ・人員増強に伴う原価および販管費増により減益
- ・官公庁案検等、第4Qに売上が偏重

単位:百万円	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q
売上高	213	216	213
セグメント損益	▲191	▲175	▲259

売上高: 1,439百万円(前期比 91.2%)

顧客の在庫調整により売上前期比減少(ITbookテクノロジー)

セグメント利益: 28百万円(対前期 81百万円増) 収益管理徹底・外注比率削減等(ITbookテクノロジー)



ITbookテクノロジー

売上高 前期比 74.4%

- ・顧客の在庫調整により売上前期比減少
- ・収益管理徹底・外注比率削減等により前期比赤字幅縮小
- ・下期(特に第4Q)に売上が集中、通期黒字化へ

東京アプリケーションシステム

売上高 前期比 111.4%

- ・ニアショア/ラボ事業 好調 新規顧客開拓等により増収
- ・商談数増加に伴う受注数増加により増収
- ・インボイス制度関連案件の需要増より増収

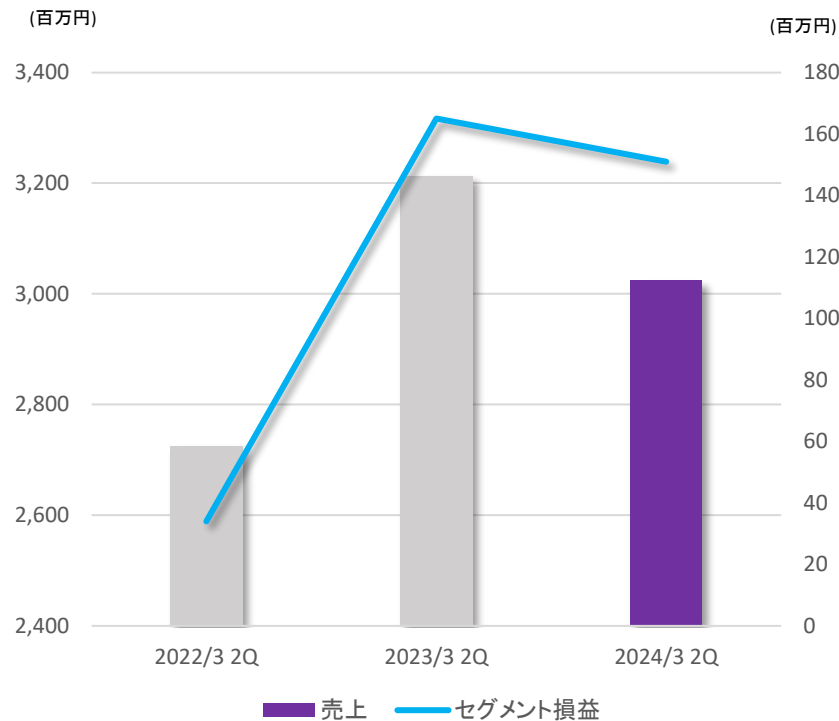
単位:百万円	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q
売上高	1,525	1,578	1,439
セグメント損益	▲12	▲52	28

売上高: 3,024百万円(前期比 94.1%)

セグメント利益: 151百万円(前期比 91.8%)

NEXTの事業譲渡(2023年4月)により減収

売上減にともない微減(利益率横ばい)



NEXT

売上高 前期比 68.4%

- ・事業譲渡(心齋橋・静岡オフィス)の事業譲渡により減収
- ・派遣人員の確保、定着化に向け社内体制強化

アイニード

売上高 前期比 112.5%

- ・派遣人員は順調に増加
- ・介護、保育、配送関連の新分野へ営業展開
- ・単価面で交渉の余地有 利益面は横ばい

イスト

売上高 前期比 113.4%

- ・EMPS事業(教育人材派遣) 好調により増収増益

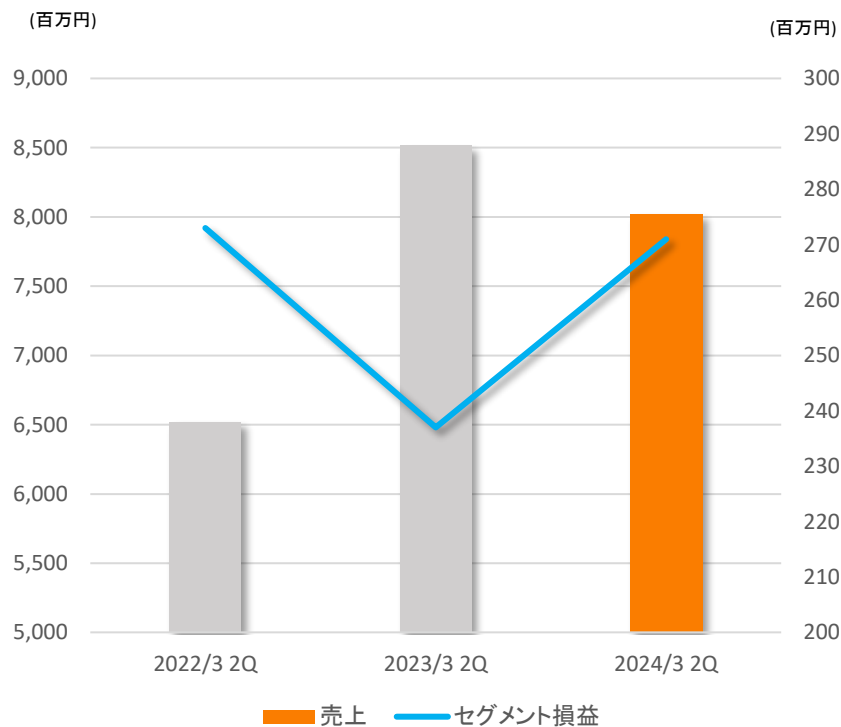
単位:百万円	2022/3 Q	2023/3 Q	2024/3 Q
売上高	2,725	3,213	3,024
セグメント損益	34	165	151

売上高: 8,020百万円(前期比 94.1%)

セグメント利益: 271百万円(前期比 114.3%)

不動産販売案件が下期に偏重(年間計画に変更なし)

外注費・販管費削減等により利益率改善(サムシング)



サムシング

売上高 前期比 102.6%

- ・新設住宅着工件数が減少する中でも安定的に受注増
- ・外注費、販管費削減等により利益率改善

アースプライム

売上高 前期比 102.4%

- ・入札案件獲得の角度向上に向け施策実施
- ・大手ゼネコンからは安定的に受注

東名

売上高 前期比 75.3%

- ・長期間案件の完工→次案件の搬入時期噛み合わず減収
- ・9月以降、工程管理に注力し下期挽回

三愛ホーム

売上高 前期比 24.2%

- ・不動産販売案件が下期に偏重し減収
- ・年間計画に影響なし

単位:百万円	2022/3 Q	2023/3 Q	2024/3 Q
売上高	6,518	8,515	8,020
セグメント損益	273	237	271

4. 中期経営計画進捗

✓ 売上高、営業利益、経常利益共に公表中期経営計画値を達成見込

(単位:百万円)	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	対前年比	
	実績	実績	実績	見込	増減額	増減率
売上高	22,634	26,346	30,528	34,400	+3,871	+12%
営業損益	△252	238	739	1,000	+260	+35%
経常損益	△208	157	708	900	+191	+27%
親会社株主に 帰属する 当期純損益	△843	△766	162	500	+337	約3倍

2023年3月期から2025年3月期はITbookホールディングスグループの変革期 「選択」と「集中」を事業再編、財務体質強化で実行し、持続的企業価値向上を実現する

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
実行課題	事業選択期（実績）	事業集中期（計画）	事業再成長期（計画）
グループ収益体質再構築	連結子会社等 18社整理完了*	コア事業集中体制構築 育成事業の再評価	コア事業収益性拡大 コア事業数の拡大
	グループ各社、各事業 収益性管理体制の 抜本的見直し実施、継続中	・経営会議での事業収益管理強化 ・各事業資産対比貢献利益 管理体制準備	事業資産対比収益性管理体制へ転換
	投融資委員会による 投資監視強化体制構築済	連結子会社のホールディングス 直接支配化推進	・配当開始準備 ・戦略的ポートフォリオ強化実施
グループ財務体質強化	第三者割当増資実施と 第3回新株予約権の償却完了	グループCMS運用拡大	連結税務体制導入準備
	シンジケートローン組成完了	グループキャッシュフロー管理 体制強化	戦略的投資を見据えた 借入余力管理体制強化
グループ 人的資本/ 管理体制強化	経営幹部人財採用実行	新グループ経営体制構築	
	人事部門、管理部門、 内部監査部門体制強化継続中	グループ本社管理本部への 各個社管理機能集約	
	グループ横断的研修システム導入	グループ横断採用体制構築	次期経営幹部育成体制強化

* 連結子会社等には持分法適用会社等の関連会社も含み、統廃合事務手続きは2023年度に繰り越される会社も含む

5 . Topics

地盤調査改良事業における建設DX推進 ウェアラブルカメラの活用

※2023年1月19日 プレスリリース

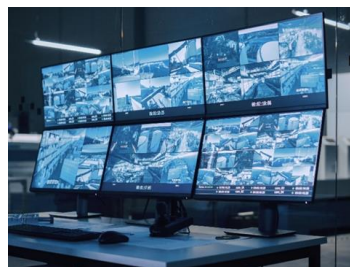
FCNT株式会社



SOME THING

株式会社ティ・エム・エフ・アース

共同開発した遠隔臨場・遠隔支援向け「ウェアラブルカメラ」を、地盤調査・改良作業の遠隔監視、作業記録に採用し、建設現場のDXを推進



遠隔においても、現場の状況を確実に把握・検証することができるため、未然の事故防止・安全確保が可能

ため池破堤予兆防災DXを推進

※2023年3月1日 プレスリリース

広島県三原市

連携協定



みまわり伝書鳩

SOME THING

ITbookテクノロジー

✓ 「ため池」の破堤要因の分析や予兆に関する実証実験を実施

サムシング：地盤調査の技術を活用し堤体や堤体下部の土質や強度及び、堤体自身の耐久性を調査
ITbookテクノロジー：総合気象観測センサー『Sensu』、気象観測クラウドシステム『みまわり伝書鳩』を活用
降雨時・雨天後の水位上昇とピークアウトをモニタリングしデータ分析

ため池破堤の予兆・水位上昇時に適切な避難勧告や事前対策が可能であると判明

建設業界初！

AIを活用した技術・製品での技術審査証明取得

※2023年2月20日 プレスリリース

SOME THING

『MARCRAY』

セメントを用いる地盤改良の品質担保となるボーリング「コア」の品質を安定的に判定するため、サムシングの過去のデータを用いて独自に開発した、画像処理AIによる品質判定アプリケーション

品質検査の生産性を向上させる開発目標に達しているとして、技術審査証明を取得



建設現場での課題解決のために様々なDXを推進

ITbookテクノロジー

・レジリエンス認証を更新承認

・環境計測サービス「みまわり伝書鳩」がNETIS (VE) 認定

※2023年4月17日 プレスリリース

ITbookテクノロジー

✓ レジリエンス認証を更新承認

組込み事業・IoT事業を行うデジタルテクノロジー事業本部が認証
※内閣官房国土強靱化推進室が「国土強靱化貢献団体」として

✓ 環境計測サービス「みまわり伝書鳩」がNETIS (VE) に認定

2021年にNETIS登録後の各工事現場での実績を踏まえ
経済性(価格)、施工性(容易な設置)、安全性(環境観測)で、高い評価

マテリアリティの一つとして「防災・減災」

防災IoTの技術力をもって国土強靱化を目指し、社会に貢献を目指す

ご清聴ありがとうございました。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。従いまして、将来の事業戦略・業績見通しに関する情報に全面的に依拠して、投資判断を決定することは避けるようお願いします。

IR担当窓口

ITbookホールディングス株式会社
管理本部

TEL: 03-6770-9970

Mail: ir@itbook-hd.co.jp

ICT技術・DXにより社会インフラの効率的、
効果的付加価値の向上及び、社会貢献を目指す。



単位:千円	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
総資産の部	11,042,961	12,983,534	14,928,342	18,098,268	16,771,396
流動資産	7,888,607	8,548,044	10,644,938	13,089,410	11,835,308
現金及び預金	3,086,823	3,177,102	3,894,837	5,782,758	3,794,009
受取手形及び売掛金	3,895,558	4,248,760	4,744,636	5,433,275	6,049,224
固定資産	3,152,753	4,378,656	4,263,885	4,993,394	4,935,088
有形固定資産	955,539	1,751,571	1,720,706	2,138,188	2,497,448
無形固定資産	1,363,998	1,407,274	1,296,876	1,349,895	1,185,360
投資その他	833,215	1,219,811	1,246,302	1,505,310	1,252,278
負債の部	8,477,039	10,420,362	12,408,414	15,899,009	13,793,925
流動負債	6,138,287	7,267,403	7,699,000	11,891,382	10,086,915
支払手形及び買掛金	1,441,684	1,564,231	1,445,395	1,882,525	1,922,726
短期借入金	2,270,321	2,389,650	2,661,723	6,856,950	4,869,635
1年内 長期借入金	798,399	1,056,046	1,009,857	388,236	453,542
固定負債	2,338,752	3,152,958	4,709,414	4,007,627	3,707,009
長期借入金	1,691,531	2,441,614	4,056,269	3,345,376	2,856,160
純資産の部	2,565,921	2,563,171	2,519,927	2,199,258	2,977,471
資本金	900,000	900,000	1,293,008	1,489,224	1,866,314
資本剰余金	2,019,476	2,019,557	2,412,565	2,582,917	2,953,034
利益剰余金	▲469,230	▲538,028	▲1,381,486	▲2,209,724	▲2,109,529
株主資本合計	2,447,269	2,376,991	2,314,707	1,852,610	2,699,813
非支配株主持分	96,890	132,912	139,813	330,088	346,143

単位:千円	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
営業CF	190,677	717,853	▲862,501	129,304	369,398
投資CF	▲743,735	▲1,355,502	▲1,051,337	▲601,404	▲498,715
財務CF	258,932	587,535	2,539,145	2,111,356	▲1,843,113
現金及び現金同等物の期末残高	2,789,602	2,917,371	3,536,578	5,235,065	3,293,359
フリーCF	▲553,058	▲637,648	▲1,913,839	▲472,100	▲129,317

単位:千円		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	通期	11,272,407	21,224,761	22,634,593	26,346,996	30,528,153
	第3四半期	6,515,693	15,212,042	16,148,211	18,571,211	21,826,817
	第2四半期	–	10,050,994	10,298,704	11,882,222	14,331,201
	第1四半期	–	4,614,050	4,702,261	5,722,506	6,705,778
売上原価	通期	8,322,220	15,614,454	16,528,399	19,698,212	22,714,228
	第3四半期	4,812,615	11,424,961	12,124,836	14,040,287	16,556,990
	第2四半期	–	7,615,456	7,924,943	8,916,663	10,925,649
	第1四半期	–	3,517,985	3,564,854	4,269,302	5,039,452
売上総利益	通期	2,950,187	5,610,306	6,106,193	6,648,783	7,813,924
	第3四半期	1,703,078	3,787,080	4,023,374	4,530,924	5,269,826
	第2四半期	–	2,435,538	2,373,761	2,965,559	3,405,551
	第1四半期	–	1,096,065	1,137,407	1,453,203	1,666,326
販売費及び一般管理費	通期	2,885,071	5,454,480	6,359,048	6,410,080	7,074,499
	第3四半期	1,812,786	3,928,798	4,777,375	4,843,142	5,375,406
	第2四半期	–	2,676,381	3,237,910	3,374,240	3,714,067
	第1四半期	–	1,316,927	1,619,413	1,727,609	1,869,862
営業損益	通期	65,116	155,826	▲252,854	238,703	739,425
	第3四半期	▲109,708	▲141,718	▲754,001	▲312,218	▲105,579
	第2四半期	–	▲240,843	▲864,148	▲408,681	▲308,515
	第1四半期	–	▲220,862	▲482,006	▲274,406	▲203,536
経常損益	通期	60,185	140,737	▲208,537	157,244	708,457
	第3四半期	▲132,469	▲149,391	▲749,953	▲323,124	▲96,265
	第2四半期	–	▲242,982	▲829,644	▲429,759	▲238,388
	第1四半期	–	▲216,788	▲461,931	▲286,069	▲130,575
親会社株主に帰属する 当期純損益	通期	▲87,635	83,156	▲843,457	▲766,064	162,492
	第3四半期	▲266,736	▲360,597	▲1,139,816	▲907,915	▲446,489
	第2四半期	–	▲361,117	▲925,686	▲730,367	▲536,219
	第1四半期	–	▲237,753	▲516,391	▲381,655	▲286,287

単位:千円		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	第4四半期	4,756,713	6,012,719	6,486,382	7,775,784	8,701,336
	第3四半期	6,515,693	5,161,047	5,849,506	6,688,988	7,495,615
	第2四半期	—	5,436,944	5,596,443	6,159,716	7,625,422
	第1四半期	—	4,614,050	4,702,261	5,722,506	6,705,778
売上原価	第4四半期	3,509,605	4,189,492	4,403,563	5,657,925	6,157,238
	第3四半期	4,812,615	3,809,505	4,199,893	5,123,623	5,631,341
	第2四半期	—	4,097,470	4,360,089	4,647,360	5,886,197
	第1四半期	—	3,517,985	3,564,854	4,269,302	5,039,452
売上総利益	第4四半期	1,247,108	1,823,226	2,082,819	2,117,859	2,544,098
	第3四半期	1,703,078	1,351,541	1,649,613	1,565,364	1,864,274
	第2四半期	—	1,339,473	1,236,354	1,512,355	1,739,225
	第1四半期	—	1,096,065	1,137,407	1,453,203	1,666,326
販売費及び一般管理費	第4四半期	1,072,284	1,525,682	1,581,672	1,566,937	1,699,092
	第3四半期	1,812,786	690,888	1,539,465	1,468,901	1,661,339
	第2四半期	—	1,920,982	1,618,496	1,646,631	1,844,204
	第1四半期	—	1,316,927	1,619,413	1,727,609	1,869,862
営業損益	第4四半期	174,824	297,544	501,146	550,921	845,005
	第3四半期	▲109,708	99,125	110,147	96,463	202,935
	第2四半期	—	▲19,980	▲382,142	▲134,275	▲104,978
	第1四半期	—	▲220,862	▲482,006	▲274,406	▲203,536
経常損益	第4四半期	192,655	290,129	541,415	480,368	804,723
	第3四半期	▲132,469	93,591	79,690	106,635	142,123
	第2四半期	—	▲26,194	▲367,713	▲143,690	▲107,813
	第1四半期	—	▲216,788	▲461,931	▲286,069	▲130,575
親会社株主に帰属する 当期純損益	第4四半期	179,101	443,754	296,358	141,851	608,981
	第3四半期	▲266,736	519	▲214,129	▲177,547	89,730
	第2四半期	—	▲123,363	▲409,295	▲348,711	▲249,931
	第1四半期	—	▲237,753	▲516,391	▲381,655	▲286,287